

リーダー育英塾カンファレンス(2022.12.25)の振り返り
ー教育のDX世代の学びをトランジションの視座で見通す:
義務教育から高大接続へー

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。
公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています

「リーダー育英塾カンファレンス2022」の概要 情報発信・助成事業

リーダー育英塾カンファレンス2022

募集終了いたしました。

電通育英会では「高大社連携に向けたトランジション教育改革」を高等学校・大学で推進していく「次世代リーダー」の育成を目的に、2018年より少人数の参加者によるワークショップ形式の「リーダー育英塾」を実施しています。

▼過去の「リーダー育英塾」の様子は以下よりご確認ください。(既ウィンドウが開きます。)
[第1期 2018年](#) | [第2期 2019年](#) | [第3期 2021年](#) | [第4期 2022年](#)

その参加者の成果報告、および教育関係者を中心とした人材育成関係者との情報共有の場として、今後のトランジションによる教育改革を担う人材育成の一助として「リーダー育英塾カンファレンス2022」を開催いたします。

▶昨年の様子は以下よりご確認ください。(既ウィンドウが開きます。)
[リーダー育英塾カンファレンス2021](#)



左：溝上 慎一（学校法人桐蔭学園 理事長）
 右：中原 淳（立教大学 教授）

概要

タイトル	リーダー育英塾カンファレンス2022 テーマ：『教育のDX世代の学びをトランジションの視座で見通すー義務教育から高大接続へ』
日時	2022年12月25日（日）13：00～16：00 ＊オンラインによる開催となります。
募集概要	<p>【募集対象者と人数】 小学校、中学校、高等学校、大学等の教職員および教育関係者 （学校教育に関心をお持ちの企業人事、経営企画担当者のご応募も歓迎いたします） 200名程度</p> <p>【申込方法】 募集終了いたしました。</p> <p>【参加費】 無料 ※印刷、通信機材、通信費等、個人に關わるものは自己負担</p>
主催	公益財団法人 電通育英会
監修	溝上 慎一（学校法人桐蔭学園 理事長／桐蔭横浜大学 教授） 中原 淳（立教大学 経営学部 教授）

リーダー育英塾カンファレンス2022 2022年12月25日（日）オンライン

【主催】 公益財団法人 電通育英会
【監修】
 溝上 慎一（学校法人桐蔭学園 理事長
 ／桐蔭横浜大学 教授）
 中原 淳（立教大学経営学部 教授）

2022年度カンファレンステーマ 「教育のDX世代の学びをトランジションの視座で見通すー義務教育から高大接続へ」

2022年度カンファレンステーマ

「教育のDX世代の学びをトランジションの視座で見通すー義務教育から高大接続へ」

本日のプログラム

13:00～ 電通育英会 理事長挨拶／主旨説明

13:15～14:15 基調講演 1 「GIGAスクール構想から始まる学校教育DX」

堀田龍也（東北大学大学院情報科学研究科 教授／東京学芸大学大学院教育学研究科 教授）

基調講演 2 「高等教育のDXと、イノベーション創出のための”場”作り」

名倉 勝（CIC Tokyo ゼネラル・マネージャー）

14:15～14:35 溝上慎一、中原淳による解説

<休憩>

14:50～15:40 リーダー育英塾OBOG実践報告

① 「観点別評価への取り組みと課題・教育のデジタル化の城東高校の取り組み」

石丸貴史（福岡工業大学附属城東高等学校 教務主任）

② 「“時間割を超える”学生の成長を中心に考える桐蔭横浜大学のDX」

河本達毅（桐蔭横浜大学 副学長・事務局長）

15:45～15:55 ラップアップ 溝上慎一、中原淳

15:55～16:00 電通育英会挨拶／終了



堀田龍也（東北大学
大学院教授）



名倉 勝（CIC Tokyo ゼ
ネラル・マネージャー）

振り返り

- 「教育DX世代」が高校・大学へ進学してくる。対応できるか？
- トランジション改革が進めば進むほど、言葉通り義務教育の「基礎・基本」の重要性が高まっていると感じる。
- 社会・教育のデジタル化が進めば進むほど、対面の場、リアルな場で学校は児童・生徒・学生にどのような学習の機会を提供できるのかが問われている。主体的・対話的で深い学び、アクティブラーニング
- 中原さんが最後言ったように、目的化してもいいからICTをどんどん使っていく
- 堀田先生の話では、小中学校ではデジタル化はまだまだ、DXまでたどり着かない。しかし、名倉さんが話された産官学での開発（スタートアップ）は現場に入り始めたら一気に入る（facebook2004年、Zoom2011年, etc）。

リーダー育英塾



教育改革を進める
次世代リーダー育成の場

リーダー 育英塾 2019

監修



学校法人利根学園 理事長
トランジションセンター 代表
遠上 慎一



立教大学 経営学部 教授
中野 淳

ファシリテーター



大阪府立大学 准教授
榎野 快



立教大学 特任准教授
榎野 泰一



立教大学 准教授
田中 聡



利根学園・トランジションセンター 准教授
武田 佳子



利根学園 情報科 教授
榎本 洋子



立教大学 情報大学院 講師
遠東 大祐

リーダー育英塾とは？

高校・大学の教職員を対象として、2泊3日で開催される少人数制の研修プログラム。参加者が日々の教育現場で抱える課題と各自で考えた解決方法を持ち寄り、グループワークや議論からのアドバイスを通して内容をブラッシュアップし、最終日にポスター発表を行います。リーダー育英塾が大切にすることは、参加した内容を教育現場に持ち帰って「実行すること」。そして、その行動を支え合い、高い志を共有する「仲間を作ること」です。未来の教育現場を変える本気の取り組みが始まっています。

1st DAY

8.17 Sat

Introduction & Interaction

Report From リーダー育英塾 2019

8月17日(土)~19日(月)に行われた第2期「リーダー育英塾」。120名を超える応募の中から事前課題を突破した33名が、クロス・ウェーブ船橋(千葉県)に集結しました。

オリエンテーション
 延達育英会・中本研 理事長の挨拶で幕を開けた第2期リーダー育英塾。総合司会は榎野先生でした。

トランジション・レクチャー
 岡上先生による「トランジション(高次社進路)」のレクチャーが行われました。社会が急激に変わる中で人材に求められる能力が変わっていることを示唆した岡上先生は、今後の教育現場の課題に対して、自身の研究データを交えて、専門的な視点からトランジションの大切さを説きました。

分科会(グループワーク)導入
 グループワークを行うにあたり、「なぜ自分たちはここに集まったのか(Why are you here?)」を意識して話し合いをしてほしい、と中野先生からお話がありました。ここでブラッシュアップした創造的なアイデアを実行するために、ここで「仲間」を見つけたいと参加者に加えられました。

分科会

その後、全6グループに分かれ、グループワークを行いました。参加者が順番に持ち寄った課題と解決方法についてグループで話し合い、ファシリテーターのアドバイスも交えつつ、磨り上げていきました。

2018年 第1期生
 2019年 第2期生
 2020年 コロナ渦で中止
 2021年 第3期生 (オンライン)
 2022年 第4期生

教育改革を進める
次世代リーダー育成の場

リーダー 育英塾 2019

監督

立教大学 経営学部長 溝上 慎一
立教大学 経営学部長 中野 淳

ファシリテーター

立教大学 経済学部長 堀野 快
立教大学 経営学部長 堀野 快
立教大学 経営学部長 堀野 快
立教大学 経営学部長 堀野 快
立教大学 経営学部長 堀野 快
立教大学 経営学部長 堀野 快

1st DAY 8.17 Sat Introduction & Interaction

Report From リーダー育英塾 2019

8月17日(土)~19日(月)に行われた第2期リーダー育英塾。120名を超える化研の中核メンバーが参加した33名が、クロスウェーブ船橋(千葉県)に集結しました。

オリエンテーション
立教大学の中核メンバーと立教大学の代表で参加した立教大学リーダー育英塾、総合学部長が挨拶を行いました。

トランジション・レクチャー
溝上先生による「トランジション(巨大社会)のリーダーが求められること」をテーマにした講演。今後の教育現場の課題に対して、自身の研究テーマを交えて、多角的な視点からトランジションの重要性を説きました。

分科会(グループワーク)導入
グループワークを行うにあたり、「全員自分たちはここに集まったのか」「Why are you here?」を議論して話し合いを行い、立教大学からお話をいただきました。ここでトランジションの課題をテーマを共有するための「ここで学ぼう」という意識を醸成しました。

分科会
その日、全6グループに分かれ、グループワークを行いました。参加者が様々な視点から課題を解決する方法についてグループで話し合い、ファシリテーターのアドバイスも交えつつ、語り合っていました。

懇話会
1日目の最後は、懇話会でお楽しみとなりました。参加者たちは一日の課題を振り返り、トランジションの重要性を話し合っていました。

立教大学 NEWS 2019.08.04 32

- 2018年 第1期生
- 2019年 第2期生
- 2020年 コロナ渦で中止
- 2021年 第3期生 (オンライン)
- 2022年 第4期生
- 2023年 第5期生

・2023年度リーダー育英塾は8月12日(土)~14日(月)に実施予定@東京都内の研修施設

*宿泊費、食事代等無料(現地までの交通費のみ実費)

・(2023年)3~4月からtulip MLあるいは溝上のウェブサイト等でご案内していきます。

ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。
E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

